

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

目指す学校像

- ・豊かな人間性の涵養と人格の形成を図り、自立し、他者と協働して生きていくために身に付けなければならない力を育てる。
- ・教職員の共通理解の下、生徒一人一人がもつ能力・適性を生かし、社会に貢献し得る人間の育成を目指す。

今年度の重点目標

- 1 基礎学力定着と授業の工夫改善 2 進路指導の充実 3 基本的な生活習慣の確立  
4 個別指導の充実 5 学校情報の積極的発信 6 働き方改革の推進

何ができるようになるか

- ・基礎・基本となる学力を着実に習得できる。
- ・望ましい人間関係を構築する力を身につけることができる。
- ・社会の一員として、責任ある行動をとることができる。
- ・三修三卒による3年間での卒業。

何が身に付いたか

- ・基礎・基本となる学力を着実に習得する。
- ・望ましい人間関係を構築する力を身につける。
- ・規範意識を身につけ、社会の一員として自立し、責任ある行動をとる。

生徒の実態

- ・学力や学習意欲に差があり、基礎学力の充実が必要である。
- ・不登校経験者が多く、多様な生徒が在籍している。

生徒の発達をどのように支援するか

日常的な関わりや個別指導を通じた生徒理解。  
適時・適切な指導・助言、細やかな生徒支援。  
細やかな心のケア。

目指す生徒の姿

- ・基礎・基本となる知識・技能の習得
- ・基本的な生活習慣・規範意識、社会人としての知識やコミュニケーション力を身につける。

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・生徒の理解度を把握しながら授業を展開し、「読み」「書き」「計算」など、基礎学力の定着を図る。
- ・一人一人の能力を把握し、実態に応じて個別指導、補習授業等を実施する。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・小テスト等を実施し、生徒の理解度・達成度を把握する。
- ・観察・応答を通して、生徒の理解度・達成度を把握しながら授業を展開する。

実施するために何が必要か

- 教師と生徒の信頼関係の強化
- 心の触れ合う学年・ホームルーム経営
- 個に応じた指導体制の充実
- 家庭・地域との連携・協働
- 特別支援教育の視点を取り入れた授業改善
- 規範意識の高揚

安心・安全を守る

- ・好ましい人間関係作り
- ・保護者、地域との信頼関係の構築
- ・問題行動の未然防止
- ・個別面談の実施

開かれた学校作り

- ・学校説明会、学校紹介動画
- ・学校ホームページの毎月更新
- ・地域で活躍する人材の活用
- ・定時制だより